



乳び胸（にゅうびきょう）

■ 病気の概要

乳び胸とは、リンパ管から漏れ出たリンパ液（乳び：脂肪を含み白濁した液体）が胸腔内に貯まる病気です。呼吸困難の原因となります。猫ではヒマラヤン、シャム、犬では柴犬、アフガン・ハウンドなどに多く見られます。原因が特定できないこともあります。

■ 主な症状（飼い主さんが気づくサイン）

- 呼吸が荒い・浅い・苦しそう
- 運動を嫌がる・すぐ疲れる
- 口を開けて呼吸する（猫）
- 食欲不振・体重減少
- 元気消失・ぐったりしている

■ どんな検査をするの？

- 胸部 X 線検査（胸水の確認）
- 胸水の採取・検査（白濁した液体：乳びと診断）
- 心臓超音波検査（心疾患の除外）
- 血液検査

■ 治療方法

内科治療

- 胸水を抜く処置（呼吸を楽にするため）
- 低脂肪食・中鎖脂肪酸食
- ルチン（胸水を減らす薬）の内服
- 原因疾患の治療

外科治療

- 胸管結紮術（胸管の結紮）＋心膜切除術。
専門医と連携して対応
- シェント手術など

■ ご家庭で気をつけること

- ・ 超低脂肪食・療法食の継続
- ・ 激しい運動を避ける
- ・ 定期的な胸部 X 線検査で再貯留を確認
- ・ 呼吸が苦しそうになったらすぐ受診

■ よくある質問

Q. 内科治療だけで改善しますか？

A. 改善する例もありますが再発が多いです。手術を検討するタイミングについてご相談ください。

Q. 食事制限は必要ですか？

A. はい。脂肪がリンパ管に負担をかけるため、超低脂肪食または専用療法食が重要です。

Q. 手術が必要になることはありますか？

A. 繰り返す胸水や内科治療の効果が乏しい場合は、専門医と連携して手術をご案内します。

■ なつ動物病院での診療について

診断から内科管理まで対応し、手術が必要な場合は専門医と連携して対応します。「呼吸が苦しそう」と感じたらまずご来院ください。

なつ動物病院 気になることがあれば、予約外でもお気軽にご来院ください